

\*\*\*\*\*ここから『電子耕』\*\*\*\*\*

隔週刊「76歳が送る農業文化マガジン『電子耕』 第65号

--農業・健康・食・図書・人物情報--

2001.8.23 (木) 発行 東京・ひばりヶ丘 原田 勉

\*\*\*\*\*発行部数 1242+92 部\*\*\*\*\*

<キーワード>

農林・園芸を中心として健康・食べ物・図書・人名・庶民の歴史をめぐる情報を提供し、お互いに<読者の声>のメール交換をしましょう。

---

目 次-----

<読者の声>田んぼのおばさん、やすとみさん、農学徒さん、風さん、

<舌耕のネタ>「故郷の小さな村で戦争を考えた」

<農業・図書情報>農文協図書館創立から20年(略年表)

<農業・図書情報>健康情報誌でもある「現代農業」(栗田)

<暑さも寒さも>硝酸性窒素問題を考える(その2)環境クラブ

<健康日記>「血液ガンとのつき合い」3、(原田 勉)

<住所移転のお知らせ>『電子耕』発行所が次回から西東京市に変わります

---

<読者の声>ここはメール交換の場です。編集者はコメントしない場合もありますがこれは、メールを無視したわけではなく、読者同士の交流にゆだねるという意味ですからご了承下さい。-----

■8/7 田んぼのおばさん：この夏の農作業「雨不足の畑から」、

「雨不足の畑から」

山梨県明野村の畑に麦を作って2年目の夏。大麦は無事麦茶となり、小麦も製粉所へもちこみ小麦粉とすることができそうです。いまどき足踏み式脱穀機と、ざるで麦茶を作っている人なんているのでしょうか。100パーセント手作りのお茶も粉も、値段がつけられないほど貴重なものですが、農業で生計を立てるといことがどんなに大変か、身にしみて考えさせられます。機械化すれば楽にはなるけれども設備投資にかかる費用が莫大ですから。

麦の切り株を利用して大豆を蒔きました。日照日本一の明野村、ことしは雨が降らないために畑は乾ききっています。とうとう一つも芽をだしませんでした。暑い盛りに草取りをして一粒一粒まいた大豆なのに。同じ日に蒔いたそば

は芽をだしていましたが、荒地に強いという作物であることを立証してくれたと思っています。

ニュースでは今年の米は作柄が良く、青田刈りをするとのこと。天候に左右される農業は、工業製品のように品質や収量を一定に保つことはむずかしいのに、やむをえないことなのでしょう。去年、ライ麦と蕎麦を収穫できずに畑の肥やしにただけでも情けない思いでしたから、青々と育った米を青田刈りしなければならない農家の方の思いはどれほどのものかと、雨不足の畑で空をにらんでしまいます。

田んぼのおばさん

●コメント：私の近所のけやきが落葉し始めました。台風11号が雨水をもたらしてくれましたが、また後の残暑が気になります。

■8/14 やすとみさん：ガンのこと。戦争の原因。

原田様

残暑お見舞い申し上げます。

いつも電子耕を拝見しています。お躰のこと驚きました。

私の学生時代の友人の多くは昭和一桁生まれですが、すでに何人かが健康ではありません。ある人は食道の病気で手術しました。その後元気になり、先日一緒に旅行を楽しんできました。もう一人偶然に同じ病気の人が出て、すでに15年以上前に同じ手術をして今も元気にしています。

私の知っているある、有名な先生は、ご自身で「ガンにかかったよ」と淡々としておられます。しかし一向に悪化することなく、もう、治ったのかと思わせる感じです。

自分が、少年の頃「すべての人は必ず死ぬ」という文を語学の教科書で読んだとき、ショックでした。しかし、いま70才近くになって、この言葉はたいへん含蓄ある言葉だと思っています。それは、「有意義に生きるべし」ということかなと思い、いささか我が身を情けなく思うときがあります。原田さんに負けないように有意義に過ごしたいと思います。

話しは違いますが、先日近藤先生の「3世紀を生きて」を読み終えました。素晴らしい内容でありました。原田さんがいなかったら出来なかったと思います。内容で太平洋戦争の原因が、人口圧力による食料不足→海外侵略であったこと、教科書では習いませんでした。これをさらに調べようと思って外国の戦

争原因論を読みまたびっくりしました（エンサイクロペデアブリタニカ2001年版）。これに加えて東洋人に対する人種差別が加わったことになっています。

先日家内が民芸の「ホームワーク」\*というボスニア・ヘルツェゴビナの人種問題の劇を見てきました。その感想をきき、戦争原因には難しい問題があると実感しています。これがまた、利用されて靖国神社問題にもつながるとなると、恐ろしいことです。最近「無理が通れば道理引込む」時代になったように思っています。人間のあり方、生き方はどこかに霞んでしまいそうです。これが今の世界の現状の一面でないかと思えます。

まずは、ご自愛のほど。

---

注

1992年「隣人殺し」とさえ言われる凄惨な民族紛争の中にあるボスニアでのこと。セルビア人農夫一家が暮らす家に、ムスリム人の義妹家族がセルビア人民兵に町を追われて避難してきます。義妹らは教師だった農夫の父が第二次大戦中に臨時の教室にしていた地下室へ身をかくします。そこへ農夫の長男の嫁が「地下室をクロアチア人とモスLEM勢力に対するセルビア人自警団の本部兼弾薬庫にする」と言う長男の伝言を知らせに来ました。凶らずも狭い地下室で、今やそれぞれの民族を背に顔を合わせた家族たち。相互に抱く不信、恐怖、増悪、愛情。

かつて父が地下室で出した宿題「クロアチア人はどうして我々セルビア人を虐殺するのか」は解けないまま、繰り返す歴史の波に家族は引き裂かれていく……

（民芸の仲間533巻より）

●コメント：

安富さま。お忙しい中をメール有難うございました。

食道ガンについては、渡部先生も手術しないで治療中です。9月に3回目の入院で完了するそうです。2月に告知され、やはり悩んだと言われますが、今は完治することがわかって、安心です。私のは貧血がひどくなれば入院治療をするが、今は毎月の検査で、済ましています。

「感染症にならないように油断するな、酒は肝臓に悪い、c型肝炎だから、杭ガン剤が効きにくい」と言われています。だから大勢集まる場所や酒の席

は遠慮しています。

戦争については、お説の通り、いろいろな原因がありますが、日本の場合は先の侵略行為を認め、再び繰り返さないように、私は残り少ない時間を体験をふまえ語り継ぐことにしたいと思っています。

勝手ですが、自分のやりたいことを優先して行きたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。「電子耕」だけは、入院しても、不定期でも続けたいと思っています。ぜひ忌憚のないご批判をお願いします。メール有難うございました。

#### ■ やすとみさん

ご返事有り難うございました。言われる通りと思いました。

最近「日本の科学者」に掲載されている歴史教科書問題についての論文を読みたいへん勉強になりました。

#### ■ 8/16 農学徒さん：「参院選挙の結果とアジアの平和」へ諫言申し上げる。

農学徒より

No. 64<舌耕のねた>「参院選挙の結果とアジアの平和」へ諫言申し上げる。

##### 1. 論旨が明確ではない。

参院選の結果、小泉人気に支えられ自民党がバブル復活したと言いながら、与党議席数は大して増えていないといいつつ、「改革」が景気回復となっていないと仰る。

参院選の結果は自民党が「痛みを伴う改革」を主張する小泉氏を首相とし、国民はこれを支持したと見るのが適当なのではないのか。また、小泉氏は景気回復についてこれから行う「痛みを伴う改革」を前提にしているのではないのか。自民党の不節操あるいは国民の「痛みを伴う改革」への不理解を主張されるのなら理解できる。また、マスコミが森前首相の対立軸として小泉氏に異様な肩入れし、世論をミスリードしたかもしれないことについて非難するのなら、これも分かる。正邪はなにか。自民党、野党（具体的にはどの党派）、小泉氏の主張、国民、マスコミのいずれを支持しいずれを非難しているのか分からない。

##### 1. 靖国/アジアの声について

では、国家が自らが決断しおこなった戦争に責務として送り死没させた国民に慰霊の意志を示すことを否定されるのか。本来後方の戦争に巻き込まれた死者（非戦闘員）を追悼することは肯定し、責務として死地に赴いたものの慰霊は否定されるのか。それとも兵士は兵士として慰霊に値しないと仰るのか。

また、アジア諸国が反発していると仰るが、中国共産党政府と大韓民国金大中政権以外に国家として反発しているのはいつれか。より正確には、国民教育として「反日」をモットーとしてきた国家以外に靖国を否定する国家があるのか。いつれの国家も「反日」モットーとしなければ成り立たない事情があるのであろうが、日本国政府が「反日」を支持し思春期の一時期のような自己否定に酔わなければならない理由は存在しない。

靖国を戦争指導者を祀っているから否定するという論旨は、当時の日本国政府の有り様からして理解しがたい。当時の日本政府は世論を無視して開戦したというのか。当時のマスコミ（新聞）は統制を受ける以前に「戦意」高揚を意図した誌面づくりをしなかったのか。また、国民はそのような「戦意高揚」新聞を好んで購読しなかったのか。戦争指導者はあくまで戦争の指揮者であって、その戦争を望んだのは日本国民であろう。

また、対米戦と失業者数百万人を天秤に掛け、対米戦を選択した当時の国民および世論をリードしたマスコミを、今日の我々が非難する正当性はどこにあるのか。

#### 1. 国際的歴史認識について

小泉氏の歴史認識が「多くの（日本）国民の国際的歴史認識」とづれており、かつ、国民がその小泉氏を支持しているとしたら、国民の矛盾を非難すべきなのではないのか。すくなくとも小泉氏の靖国支持は参院選以前に表明されているのであるから。

しかし、よく分からないのが「国際的歴史認識」なる言葉である。一体、どのような言説を指しているのか分からない。

#### 1. 反動分子について

率直に申し上げる。「反動分子」というレッテル張りは、かつての「非国民」とど違うのか教示いただきたい。自らの正当性を主張するために対立者に対する「デモナイゼーション（悪者化）」は、言論の自由を前提とした民主制を支持する者として最も憂慮すべき行いなのではないのか。

最後に

当方は、別に好戦主義でもなければ自民党支持者でもありません。しかし、日本の近代農業の成立に関して先人の志に畏敬の念を持っております。また、自らが見聞した諸外国の有り様から、我が祖国の力となった先輩諸氏に心よりの敬意を有しております。『電子耕』にちらちらと垣間見える「(無責任な野党的) 散文が見られることが残念です。

ご老体、若輩とひとつお手合わせ願えますでしょうか。

ちなみに、当方の専門は育種ですが、江戸期から昭和期にかけての作物諸品種の作出は驚愕に値します。また、機会があればこの方面での投稿をしたいと存じております。

●コメント：8/20

メール有難うございました。今年の夏は、戦争がらみの論議が盛んになって、良かったと思います。本紙は読者の交流を願って問題提起の「舌耕のネタ」を提供しています。貴兄の論争には私より友人が答えてくれることを期待しています。それにおいおい私も参加します。

専門の育種について農文協図書館に松尾孝嶺文庫があります。ぜひご覧ください。

(追加) 老体になると短気になり、考える幅も余裕もなくなりました。長文を論理的にわかりやすく述べるのが難しくなりました。碁の強い友人がつくづく述懐していました「歳をとると上達するどころか、だんだん弱くなるんだ」と。私も2、3年前から気がついていたのだが、やっぱりそうかと思いました。諫言有り難うございました。今後気を付けましょう。

■8/19 風さん：靖国神社について、

靖国神社について

参拝についての議論はいろいろあるでしょうが、ひとつ気になることがあります。

日本人、外国人合せて、膨大な死者が出ていますが、日本人の遺族でも、十分に年金をもらっていない人がいますね。

神社に祭って、玉串料を払うのなら、安いものです。

「哀悼の意」だの「反省」だのと、言葉はタダですし・・・。

結局、特攻隊のような無茶がやれたのは、  
コストがかかっていないからではないでしょうか？

ヤクザが、「鉄砲玉」を使う時、  
懲役に出た人の家族の面倒を観るのに、2千万円かかるそうです。  
だから、抗争によって、それ以上の収入が見込めない時は、やらないのだそう  
です。

小泉さんは、特攻会館を観て涙したそうですが、  
結局、「玉串料」と「言葉」で済ませてしまうのなら、  
その感性はおかしいと思います。

マスコミは、「外交」問題として取り上げていますが、  
日本が本当に自立した国になるためには、  
純粋な戦死者や遺族の心情を  
利用する「うそ」が見抜く個人の能力が問われます。

ここが分からない人は、結局、  
また、国に騙されるだけではないでしょうか？

●コメント：戦後56年目に、再び戦争責任についての論議が出てきたことは  
意義あることだと思います。100人いれば100の意見があります。アジア  
の国ぐにの意見も取り入れて、その論議をまとめていけば、国際的にも国内で  
も認められる歴史教科書ができるのではないのでしょうか。

---

<舌耕のネタ>「故郷の小さな村で戦争を考えた」

---

こんな暑いときに、わざわざ暑いところに行かなくても。という家内の反対  
を押し切って、故郷・天草の月遅れお盆に帰省した。私も76歳になって、元  
気なうちに姉や妹、従兄弟たちに顔を見せておきたいとの考えだった。昨年か  
ら天草空港ができて熊本空港から20分で到着できるようになったからでもあ  
る。8月15日朝7時に東京の自宅を出て、午後1時半には実家に着いた。

墓は村の中ほどの丘の上にあった。墓参りのとき、私もこの墓に入るのだと覚悟しながら、義兄が戦死したころのことを思い出した。隣家の墓は苔むしていたが墓碑には「陸軍上等兵濱州武雄 昭和十二年十一月二十二日山東省ニテ戦死」とあった。「支那事変」のとき、村で一番目の戦死者であった。次が二番目の義兄・「陸軍曹長原田早巳男 昭和十三年八月二十日安徽省大湖県ニテ戦死」したのであった。二人とも金鵄勲章を受章し、天皇の恩賜金を頂いた。

その後も戦死者は小さな村で数十人あったが、あとは金鵄勲章を受章する人は少なかった。「支那事変」（日中戦争）の初期の戦死者だけに金鵄勲章を授けたのはなぜだろうかと考えた。今年の夏は、小泉総理の靖国神社参拝問題で、国内だけでなくアジア諸国からも批判があって多くの侵略戦争論議があったが、金鵄勲章について言う者はいない。明治時代の日清戦争のときから天皇の名において陸海軍軍人だけに与えられたものが金鵄勲章であった。

「支那事変」の時も「戦死したものは金鵄勲章を受章し、靖国神社に祭られる」。これ以上の名誉はないと村人の多くは言っていた。しかし遺族の父母はどんなに嘆き悲しんだか。義兄の母は棺桶にすがりついて泣き叫んだ。葬儀のあと半年寝込んで亡くなった。父も農業をやる気がなくなった。私はその跡継ぎとしてこの家の養子になった。あれから六十三年経った。今でも仏壇の上には養父の写真と並んで義兄の軍服姿の写真が飾ってある。

この文章を書いている今日は「八月二十日、義兄の63回目の命日」である。76歳の私の中で「支那事変」（戦争）はまだ終わっていない。

---

#### <農業・図書情報>農文協図書館創立から20年（略年表）

---

農文協図書館は20年前の7月設立しました。設立当時の経過から現在までの活動の略年表を紹介します。

1980・s55、10、23、ビル建築完成、近藤康男農文協第6代会長が「農文協図書館」と命名。11、26、農文協定期役員会で「農文協図書館を財団法人として設立するに関する件」を可決。農文協から寄付された財産（土地、建物、流動資産計4億8645万円）。設立の経緯、趣意書、開館の頃のことは『農文協図書館の15年』に詳しい。



1981・s56、7、24、財団法人農文協図書館寄付行為（設立許可・東京都教育委員会）理事長岩淵直助、理事：近藤康男、古島敏雄、小林繁次郎、川田信一郎、坂本尚。監事：吉井晃、窪田角一、評議員・略。事務局長：高木均、職員：渋谷幸子。開館準備、図書・資料の収集。閉架式個人文庫（守田・近藤）の受け入れを始める。

1982・s57、2、25、開館式：岩淵理事長経過報告、（後に、常務理事岩淵直助）図書購入費930万円、公開蔵書4,600冊、火・木・土開館。入館者1,122人。寄贈図書：農文協、私立南多摩農村図書館・浪江虔、石崎三郎、鍵山博史、森晋、博友社・西鳥羽氏など7,800冊。この年：守田文庫1,464点、近藤文庫9,300点登録。

1983・s58、理事長近藤康男常勤、常務理事岩淵直助非常勤、高木事務局長、職員1人、パート従業員1人）公開書架の増設、図書購入費820万円、公開蔵書11,111冊。個人文庫受領：土屋光豊・山崎不二夫・和田博雄・三田雅彦・川田信一郎・近藤康男・菱沼達也・井上喜一郎・農政調査委員会。入館者1,529人。

1984・s59、（以後、常勤は高木事務局長・パート従業員2人の体制続く）図書購入費530万円、公開蔵書14,800冊、寄贈図書6,632。閉架式個人文庫：この年、松尾孝嶺追加して、計11種。

1985・s60、図書購入費570万円、寄贈図書2,984冊。入館者3,300人（平均13.6人）蔵書活用者2,157人。

1986・s61、図書購入費6,16万円、2,605冊、個人文庫：深谷進・小宮昌平など寄贈図書3,009冊。入館者3,707人（15.3）。

1987・s62、前農文協理事丹治武正氏から300万円寄付。個人文庫：野口弥吉・岩淵直助・奥本幾雄・農林統計協会農業センサス115冊寄贈を受ける。図書購入費520万円（2,283冊）

1988・s63、岩淵常務理事から原田勉常務理事へ交代。農文協理事兼務で、「農文協五十年史」の編集、近藤康男理事長の補佐をする。図書購入費460万円（1,786冊）寄贈4,788冊。入館者3,434人（14.3）。

2)

1989・h01、常勤：近藤理事長、原田常務、高木事務局長、嘱託職員丸山、パート従業員柳瀬真貴子入る。(以下の図書購入費・寄贈図書・入館者数は省略) 個人文庫：柏原孝夫・故福島要一・団野信夫・故岩淵直助・野口弥吉。

1991・h03、個人文庫：西田司一・岩崎文雄。

1992・h04、個人文庫：佐藤正。

1993・h05、入館者3, 142人、図書購入費300万円、公開書架34, 667冊。個人文庫：山地進。

1994・h06、常勤：近藤理事長、原田常務、高木事務局長、職員1人、パート2人の体制。図書購入は農文協農業書センターから開始。個人文庫：石川英夫。

1995・h07、創立15周年記念に、近藤康男著『農文協図書館の15年』作成。個人文庫：故菱沼達也。

<事務局長交代・運営改善・電算化>

1996・h08、高木事務局長辞任、原田常務・事務局長兼務、パート従業員4人の体制。滞留図書・文庫の整理、業務の正常化、運営の改善。開館10時～17時。農文協に農文協図書館運営委員会設置(委員長原田津外7人) 選書・電算化などの援助。雑誌保存期間を決める。個人文庫：故大谷省三。

1997・h09、原田常務、図書館事務局長専任となる。農文協附属図書館の性格を強化して農文協専用書架設置。パソコン導入・蔵書データ入力始める。公開書架を書庫まで拡大。図書管理にパッケージソフト情報館導入・バーコードにより登録。閉架書庫に暖冷房空調設置。図書購入システムの改善。

1998・h10、相原昭夫事務局長就任。図書館業務のパソコン管理始め、会員登録・新刊受け入れ・貸出管理・統計処理。農文協ルーラルネットに図書館紹介。農業書出版社に図書寄贈・半額購入を要請。

1999・h11、相原昭夫事務局長辞任、再び原田常務・事務局長兼務。

農文協全集編集部繁田・本谷、図書館兼務。閉架式個人文庫・近藤文庫・守田文庫のデータ入力開始。アルバイト2人採用（高橋、坂本）。農文協図書館ホームページ刷新（利用案内、蔵書検索、蔵書紹介、農文協60年特集など）。

2000・h12、ホームページ毎月更新。パート従業員金野とし子入る。近藤文庫・守田文庫・山崎不二夫文庫インターネット公開を始める。

<常務理事・事務局長交代>

2001・h13、4月パート従業員IT担当原田太郎入る。松尾孝嶺・川田信一郎・福島要一文庫のインターネット公開。佐藤正・団野信夫文庫その他の個人文庫データ入力を継続中。下期から原田津常務理事・本谷事務局長体制となる。原田勉理事は理事長秘書役専任。

7月現在：公開図書38,500点。個人文庫公開19,770点。合計58,270点。

<http://www.ruralnet.or.jp/nbklib/>

---

<農業・図書情報>健康情報誌でもある「現代農業」（栗田）

---

8/8 『電子耕』への投稿

原田様。体調はいかがですか。

前号で、原田さんの記事を拝見して、心配している一人です。

すこしは原田さんの体調維持に、参考にしてもらえるかなと

も思って、またまた現代農業の紹介です。

■健康情報誌でもある「現代農業」

「電子耕」読者の皆さんの中に（ご家族の中に）リウマチに悩む人はいませんか。

高血圧の人はいませんか。逆に低血圧で、朝が弱いという人は？

またまた「現代農業」の内容案内です。月刊誌現代農業は、「健康は自分で守る」ユニークな健康雑誌でもあるのです。それもただの健康雑誌ではなく、農業経営の進路や地域おこしにつながる健康情報を毎号載せているのです。

#### ◆リウマチに効くアロエ

まずは、9月号からリウマチ対策情報を。

30代半ばでリウマチを患い、人が通るだけで手足が痛んだほどの重症だった静岡県小笠町の鈴木信行さん。家業の養豚を断念して、リウマチ治療のために出かけた韓国で、アロエベラに出会いました。以来、毎日ミキサーにかけたアロエベラをビールの大ジョッキ1杯分飲み続けた。半年ほど続けるうちに徐々に痛みが遠のいて、2年ほどで普通の生活ができるようになったとのこと。変形してしまった指を見せられない限り、重度のリウマチだったことはわからない仕事ぶりです。

アロエベラとは、肉厚の大型のアロエで、鈴木さんはいま養豚場の跡地に建てたハウスでこれを栽培し、3年もかけて育てた薬効の高いものを出荷しています。

アロエの葉を1枚ずつ切って出荷しますが、1枚が700グラムもある。太く充実していて、中にはゼリー状の葉肉がびっしり。

どんな薬効があるのか。たとえば、水道水の塩素がアロエに吸着される。コップの水道水に残留塩素測定液を入れて黄色くなったものに、切ったアロエの葉を入れると黄色の水が透明に変わります。塩素が消えたのです。

アロエの透明な葉肉は、刺身にしてわさび醤油で食べると美味しい。こだわりの和食店から注文があるそうです。鈴木さんは韓国出身の奥さんとともに、普及の輪をひろげています。

#### ◆黒豆の煮汁で血液サラサラに

現代農業9月号は、「黒には愛がいっぱい」ということで、「黒い作物」の効用と地域づくりへの応用を特集しています。

たとえば、黒大豆（黒豆）。ご存知のように、黒豆が黒いのは、アントシアニンと言う紫色の色素が表皮にたっぷり入っているので黒く見えるのです。

黒豆の煮汁は、濃い紫色。これを捨てるのはもったいないことです。残さず飲みたい。

血液がドロドロの人が、20℃ほど黒豆の煮汁を飲むと、1時間後にはサラサラの血液になる。このことを農水省の食品総合研究所で実証しています。

血の流れがよくなり、続けて飲むと血圧も下がる。

アントシアニンを多く含む黒豆の煮汁は、血液中の血小板の凝集能を抑制する。

さらに

ガンや老化の要因になる活性酸素の消去活性も高い。「まめで達者に」に暮ら

すのに理想的な食品なのです。

黒豆は、いま全国で水田の転作作物として、地域づくりに生かそうとするところが増えています。兵庫の丹波黒大豆が有名ですが、地元では、黒豆のジュースとかクッキーとか、黒豆おこわとか、ヘルシー特産品づくりに努力しています。消費者が健康への効用を理解して、消費拡大を応援すれば、国産大豆による健康づくりが定着します。その意味で、もっと消費者に効用をアピールしたい。

#### ◆黒にこだわる国産うどん

国産小麦も、輸入小麦に押されて苦戦しています。うどん用の小麦は、いま豪州産のA S Wという品種が圧勝状態。粉の白さとシコシコの歯ごたえでは、国産小麦がかなわないのです。国産のうどんは、黒く、くすんだ色で、見栄えがしない。

ならばいっそのこと、黒いうどんをアピールしよう、国産のうどんの黒さは、ポリフェノール（アントシアニン・フラボノイドなどの色素）が多いことの証拠だ。調べてみると、A S Wに比べてポリフェノールが2.6倍多く含まれている。それだけでなく、食物繊維やミネラルも多い。

そんな健康本位の発想で、地粉のうどん（乾麺）を作り始めたのが、広島県君田村。製粉にもこだわって、小さな製粉所で石臼製粉。微細な皮が混じった粉は、「そばみたい」と感想をもらす人もいるそうですが、小麦の豊かな風味がある。

こうして乾麺まで加工して売れば、輸入に押される小麦づくりも採算がとれるのです。この小麦も消費者の応援があつてこそ、地域に定着できます。生産者と消費者がもっと近づいて、地産地消、余りをよそにもおすそ分けするシステム。これは健康づくりのおすそ分けでもあります。

「現代農業」では、「小さい流通」を数多く日本中にひろげることを、毎号で提案しています。それが、21世紀の個性的で豊かなライフスタイルをつくる土台だと考えるからです。

\*\*\*\*\*

（社）農山漁村文化協会 提携事業センター 栗田 庄一

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1

TEL.03-3585-1144 FAX.03-3585-6466

kurita@mail.ruralnet.or.jp

●コメント：ガンに限らず病気のひとは体調維持と免疫力強化が重要と知りました。それには食べ物が基本のようです。漢方や民間薬といわれるものに大切なものがあるとはご指摘の通りです。アロエ、黒豆は早速実行しましょう。

---

<暑さも寒さも>硝酸性窒素問題を考える（その2） 環境クラブ

---

硝酸性窒素問題を考える（その2） 「水の味」アンケート

東京都の水道水の硝酸性窒素が高いのではないかと感じた私は、環境クラブを通じて、全国の市民の人達に「水道水」の水質測定を呼びかけることにしました。

簡易キットを配布し、各地の水道水の硝酸性窒素の測定をお願いしたわけです。

同時に実施したのが、「水の味」アンケートです。

水の味、臭い、色等について、いくつかの選択肢を作って、水質調査と同時に記入してもらうことにしました。

果たして、相関が現れるものかどうか、結果については、次号でお知らせします。

（以下 次号）

環境クラブ ホームページ

<http://www.ecoclub.co.jp/>

---

<健康日記> 「血液ガンとの付き合い」 3、(原田 勉)

---

その5、メール友からの助言

7月12日「お体の具合はいかがでしょう」というメールがきた。

長崎市の成人病センター医局からであった。

私の小学校時代からの親友で25年前に長崎で白血病でなくなったH. Aという友人の次男S. A君である。現在は長崎原爆被災研究の伝統のある病院に勤務している。以下はその要点を紹介する。

「私も血液専門ですから、セカンド・オピニオンとして何なりと質問があったら相談に乗ります。検査データを教えて頂ければ助かります。

一般論で言いますと、骨髄腫は慢性的に経過することが多く、私の患者さんでも外来で診ている方が多い病気です。貧血・骨病変・腎障害などの症状と患者さんの年齢・状態によって、治療開始時期と治療法を考えています。

25年まえの父は平均生存期間が6〜8ヶ月でしたが、約3年間活かして頂いたことは次の闘病生活だと私は思います。

#### 1、治したいという信念：宗教心に近い気持ち

元来は、お寺参りも嫌うような無神論者だったが、何故か般若心経の解説書を読んで、いたく感激していた。故郷に帰省した際は必ず延命地藏菩薩にお参りしていた。闘病がひとりぼっちで戦うのではないという自覚が必要だと思う。

これまで診てきた患者さんでも精神的支えがある方では、治療の副作用なども軽いような印象があります。

#### 2、快食快便快眠

化学療法に限らず体力なくしては治療の継続はできない。医食同源という言葉もあるが病院の薬だけで治すというのではなく、食事をしっかり摂って、体調を整えることが重要です。症状によっては漢方薬・民間薬などの類の薬も私は否定しません。これもなんらかの効果があったと思います。

父の最期の入院は、アイスコーヒーを飲んで寒気がしたのが風邪のきっかけとなり、リンパ系の反応が強くなったの病状悪化ではないかと秘かに思っています。

#### 3、主治医を信頼して前向きに治療方針を聞いて治療を受ける

これが重要だと思う。父の場合も主治医と教授の説明を疑うことなく、治療を受けていましたが、最期の入院のときは、何の治療にも進んで受けようとする気力がなくなって、みるみる容態が悪化したという母の話でした。

当時と違って現代はインフォームドコンセントで十分に説明を受けておられると思います。それでも万一不明な点や主治医に尋ねにくいことがありましたら、私なりに解釈して差し上げます。」

という助言だった。これは有り難かった。今後、データを送ってメールでセ

カンド・オピニオンとして助けて頂く予定である。

この外、公表しないでというメールのお見舞いも続いている。今度ほどメルマガを発行していて有り難いと思ったことはなかった。読者の皆さんにお礼を申し上げたい。(次号に続く)

---

<住所移転のお知らせ> 『電子耕』発行所が次回から西東京市に変わります

---

この度、ひばりヶ丘団地建替えを機会に、近所のアパートに9月4日に転居いたします。今後の発信は下記で行いますのでよろしくお願いします。

〒202-0001

西東京市ひばりヶ丘2丁目2-1-106

電話・FAX 0424-24-5488

E mail:tom@nazuna.com (今までと変わりません)

---

— P R —

■■■■ 劇団文化座創立60周年記念第1弾  
■■■□ 『夢たち』  
■■□□ 作=三好十郎/演出=越光照文  
■□□□ 公演期間 2001年10月11日~20日  
□□□□ 新宿・紀伊國屋ホール チケット発売開始 8/10

<http://bunkaza.com/>

---

— P R —

『電子耕』から大切なお知らせ

<http://nazuna.com/tom/10.html>

<本誌記事の無断転載を禁じます>

\*\*\*\*\*

隔週刊「76歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」 第65号  
バックナンバー・購読申し込み/解除案内

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

2001.8.23 (木) 発行 東京・ひばりヶ丘 原田 勉

<mailto:tom@nazuna.com>

\*\*\*\*\*発行部数 1242+92 部\*\*\*\*\*ここまで『電子耕』\*\*\*\*\*



